

松平忠利画像(部分)
幸田町 本光寺蔵

松平家清画像(部分)
天桂院蔵

吉田藩★誕生!

たけのや
竹谷松平と
ふこうず
深溝松平

2025.9.6(土) —
10.26(日)

会 場	豊橋市美術博物館2階 展示室7~9、展示コーナー
主 催	豊橋市美術博物館
開館時間	9:00~17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜休館 (ただし、9/15、10/13は開館し、翌日の火曜休館)
観 覧 料	一般・大学生 600(400)円 小・中・高生 300(200)円

※()内は前売または20名以上の団体料金。前売券は豊橋市美術博物館・豊橋市三川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろばで9月5日(金)まで販売。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者1名は無料(ミライDが利用できます)。
※東三河の小中学生は「ほの国こどもパスポート」の提示により無料。
※豊橋市在住の70歳以上の方は割引料金(300円)。



豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

吉田藩★誕生!

たけのや
竹谷松平と
ふじのうす
深溝松平

令和6年3月のリニューアルオープン後はじめて中近世をテーマとする歴史系企画展は、現在の豊橋市の大部分を治めた三河吉田藩のはじまりに注目します!

慶長5年(1600)の関ヶ原の戦い後、東三河など15万2千石を支配していた吉田城主池田輝政が播磨姫路へ移されると、三河国は幕領・藩領・旗本領などが入り組む「非領国地域」となりました。新たな吉田城主には竹谷松平家の松平家清が充てられ、吉田藩3万石を治めました。同家は数ある松平一族の分家の中でも古い家で、桶狭間の戦い後に今川氏真から離反して徳川家康に従いました。

しかし竹谷松平家は2代で断絶したため、慶長17年に深溝松平家の松平忠利が同じく3万石で吉田藩主となり、約20年間吉田を治めました。同家は武勇で名を馳せた家であり、3代続けて戦死を遂げています。一方で、連歌や茶を好むなど文化的にも優れた家でした。

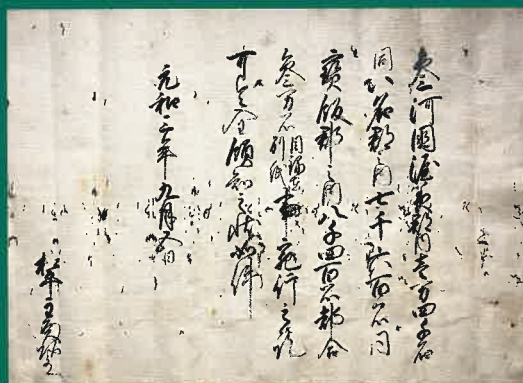
本展覧会では、2つの松平家ゆかりの歴史資料を展示し、江戸時代初期に吉田藩を治めた両家の足跡を紹介します。



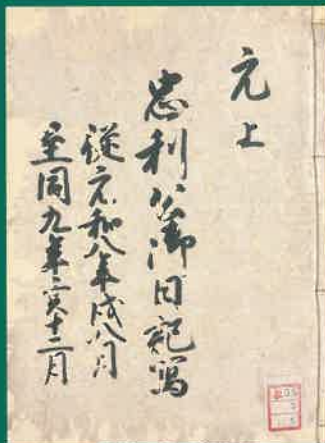
松平忠利坐像(幸田町 本光寺蔵)



葡萄蒔絵鼓盃(個人蔵)



徳川秀忠知行宛行状写(常盤歴史資料館蔵)



忠利公御日記写(肥前島原松平文庫蔵)



豊橋市美術博物館
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1 (豊橋公園内)
TEL.0532-51-2882
FAX.0532-56-2123
E-mail: bijutsu@city.toyohashi.lg.jp
https://toyohashi-bihaku.jp/



関連イベント

◆記念講演会

①「深溝松平家と松平忠利」

9月20日(土) 14:00-15:30

講師 | 神取龍生さん(幸田町教育委員会)

②「竹谷松平家の歴史と徳川家康」

9月28日(日) 14:00-15:30

講師 | 平野仁也さん(東海学園大学准教授)

[共通]

会場 | 講義室

定員 | 80人(申込順)

料金 | 無料

申込み | 8/5(火)から当館ホームページより

必要事項を入力

◆びはく講座

『忠利日記』と草創期の吉田藩

9月13日(土) 14:00-15:00

講師 | 担当学芸員

会場 | 講義室

定員 | 80人(申込順)

料金 | 100円

申込み | 8/5(火)から当館ホームページより

必要事項を入力

◆ギャラリートーク

9月6日(土)、10月12日(日) 各14:00-15:00

参加費 | 無料(要観覧料、申込不要)



紺糸威二枚胴具足(個人蔵)